

## ライオン株式会社

社会貢献を実践するボランティア休暇

取組の  
ポイント

- 会社が指定する活動への参加を支援する「ボランティア特別休暇制度（最大年5日）」と、社員が関心を持つ活動への参加を支援する「ボランティア一般休暇制度（積立休暇を利用）」を運用
- ボランティアによる森林整備活動を年3回実施



ボランティア特別休暇制度を活用した森林整備

## 取組の目的・概要

- 企業行動憲章において、「就業者のゆとりと豊かさを実現するために安全で働きやすい環境を確保する」と定めており、これに基づいて、従業員の働きやすい環境の整備の一つとして特別休暇を設けている。
- また、企業としての社会貢献についても「社会の一員として積極的に社会貢献活動を行なう」と定めており、従業員の社会貢献を実践できるようなボランティア休暇制度なども設けている。
- ボランティア休暇制度は、会社が指定する活動への参加を支援する「ボランティア特別休暇制度（最大年5日）」と、社員の活動参加を支援する「ボランティア一般休暇制度（積立休暇を利用）」の2つがある。
- 事業に関連した社会・環境貢献活動に従業員一人ひとりが参画する機会を増やすことで、高い社会・環境意識をベースに新しい価値を生み出す人材の育成につなげている。

## 企業概要

[ 設立 ] 1918年  
 [ 事業内容 ] 日用品製造・販売  
 [ 所在地 ] 東京都墨田区  
 [ 従業員数 ] 連結 6,895名 単独 2,510名(2017年3月現在)

[ 年次有給休暇の取得率 ] 50.7%  
 [ 年間休日数 ] 124日  
 [ URL ] <http://www.lion.co.jp/>

## 取組内容と特徴

### ボランティア休暇制度の概要

- ・「事業を通じて社会に貢献する」という創業者の精神を受け継ぎ、社会・環境貢献活動に従業員一人ひとりが参画する機会を増やすことを目指して、ボランティア休暇制度が2005年から導入された。
- ・ボランティア休暇制度は、会社が指定する活動への参加を支援する「ボランティア特別休暇制度（最大年5日）」と、社員が関心を持つ活動への参加を支援する「ボランティア一般休暇制度（積立休暇を利用）」がある。
- ・ボランティア休暇は、休暇取得のために上司を中心に部署内の業務調整が行われるなど、職場での理解が進み、従業員満足度向上につながっている。
- ・ボランティア特別休暇とボランティア一般休暇を合わせて、ボランティア休暇取得者数は、2017年で12名。

### 「ライオン山梨の森」森林整備活動

- ・「ライオン山梨の森」は、山梨県が進める「企業の森推進事業」の第1号として、2006年10月に開設した。同社は「洗うこと」を通じて、水と深い関わりの中で事業を行っており、水を大切にしたい思いから社員の水環境意識の醸成を主な目的とし、水源である森林の整備について地元自治体等と協定を結び、ボランティア活動や新入社員研修で森林整備活動を行っている。

- ・ボランティア特別休暇を利用して「ライオン山梨の森」森林整備活動を年3回実施している。当活動では、整備放棄されてきた人工林を間伐や広葉樹の植林などで再整備を進めると共に、地元の小学校の児童や、婦人会の皆さん、ゼミの活動として参加している大学の学生などと積極的に交流を図っている。

### ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・同社では、社員がワーク・ライフ・バランスを重視しながら、仕事の成果を生み出せるように、就業環境の整備を進めており、2010年から長時間労働の削減と有給休暇の取得促進に取り組んでいる。2016年からは、週1回の「ノー残業デー」、月1回の「ノー残業週間」に加え、退館時間の改善を行っている。
- ・労働時間管理に対する理解促進のため、全従業員に対してe-ラーニングを毎年実施している。また、目標である有給休暇取得60%の達成に向けて、労使協定締結のもと、年3日間を計画的に取得する取り組みを実施し、2016年の取得率が向上した。
- ・2015年より、働く場所を職場に限定しない柔軟な働き方として在宅勤務制度を導入し、業務の生産性向上とワーク・ライフ・バランスの改善に取り組んでいる。制度の理解と浸透を図るため、説明会や個別の職場ヒアリングを繰り返し実施し、制度の利用促進効果の確認を行いながら拡充を進めている。

### 【ライオン山梨の森】森林整備体験ボランティア活動の参加者

### 制度利用者の声

#### 【気付き・リフレッシュ】

- ・業務で多忙が続き、目先の業務をひたすらこなす日々を続けてきたが、今回活動に参加することで、日常とは全く異なる風景を見て、木々や草、土に触れ、童心に返ったようであった。精神的にもリフレッシュすることができた。

#### 【自社の環境活動を知る】

- ・企業として水に関わる社会的責任や水源である森を整備することの大切さを学んだ。
- ・製造業として環境保護への意識の高い行動を取っていきたいと思う。
- ・森を通して会社や自分がどのように社会、環境に貢献するかを見直す良いきっかけになった。

#### 【自己の業務へ活かす】

- ・お取引先様から森林活動について聞かれることがあったが、これからは胸を張って当社の活動を説明することができる。
- ・これまで工場での生産活動で水を使う視点から環境に向き合うことを考えていたが、森の重要な役割を知り水循環全体について考えることができた。

#### 【地元や関係者との関わり】

- ・植栽作業において地元の小学生と作業を行った。ペアを組んだ小学生は前日から楽しみにしていたらしく、とても元気で一緒に楽しむことが出来た。
- ・地元の婦人会の手作りの昼食（おにぎり、山菜のてんぷら、豚汁）は涙が出るほど美味しかったです。